

健康コラム

歯周病予防がもたらす健康効果

お口の中の病気、歯周病が進むと歯を失いやすくなります。歯は、食事に大きく関わりがあるため、歯周病で歯を失うと、食べ物が食べにくくなります。また、歯周病が全身のさまざまな病気に関わっていることが分かっています。

●歯周病にならないための予防には

- ▶お口の中を清潔に保つ、歯磨きやデンタルフロス(糸状ようじ)、フッ化物配合歯磨き剤などを利用し、汚れを取り除きましょう
- ▶甘いものなどの偏りをなくし、バランスの取れた食事をしましょう
- ▶たばこを吸わないようにしましょう
- ▶定期的にかかりつけ歯科医院でお口の中のチェックをしましょう

●歯周病にかかってしまったら

- ▶歯科医院で歯周病の治療をしましょう
毎日の歯磨きが歯周病を防ぐ基本になりますが、歯垢(プラーク)を完全に除去することは、困難な場合があります。そこで、専門家による歯石の除去を行い、歯面の清掃などを受けることで歯周病が改善してきます。

●失われた歯があるときは

- ▶入れ歯などを活用しましょう
取り外し可能な部分入れ歯、総入れ歯やブリッジなどがあります。かむ力が回復し、取り巻く筋肉が向上します。

【問い合わせ】健康づくり課(☎23-3121)

■**どんな相談があるの？**
○過去に、値上がりの見込みがないような原野を将来値上がりするとだまし購入させる原野商法の被害に遭った。ある日「あなたが過去に購入した原野を欲しい人がいる」との電話があり、後日来訪した担当者から「現地調査が必要」と言われ、費用と

■**注意することは？**
○「土地を売りたい人がいる」といった話があった場合は、うのみでせず、土地が必ず売れると

■**困ったときは？**
○本庁市民生活総合相談センター(☎24-2111)内線259)へ

過去に購入した原野が売れる？
二次被害に注意！

市民生活コーナー

して35万円を支払った。その後「親会社が倒産した」との連絡を最後に、電話が通じなくなりました。調査費用は返ってきていない。このように、原野商法の被害者を狙った二次被害の相談が後を絶ちません

○契約を検討する場合は、土地の登記情報の確認や土地の周辺がどのような状態にあるか、実際に現地に行つて自分や家族の目で確認するようにしましょう

先祖を敬う気持ちを大切にし 伝統行事を守り続ける

◆**あんどんまつりとは**
200年以上前の大飢饉で餓死した人々を供養するために始まりました。毎年8月14日・16日の2日間、4台の山車が出し物を作り替えて運行しています。

◆**今後の目標は**
先祖を敬う気持ちを忘れずに、あんどんまつりの伝統を次世代に伝えていきたいと思っています。そして、ことしは「宿場町おほさま400年記念事業」の一環で青森県弘前市の「ねぶた」と共演します。多くの人たちに来ていただき、あんどんまつりの魅力を伝えられたらいいですね。

パーソナル PERSON'S 124



かすゆき 山崎 和幸 さん (大迫町大迫 55歳)

大迫町の夏の風物詩「あんどんまつり」。その伝統を守り、受け継いでいる山崎さんは「川若組」の代表として、山車の製作から運行まで中心となって取り組んでいます。

た。そこで、地域の人たちが集まり、山車を造り上げていく姿に魅了され、参加するようになりまし。先輩たちから、昔ながらの色使いや木材と釘だけで骨組みを製作することを教わり、今も受け継いでいます。

いきいき仲間たち



小瀬川神楽の100年の歴史を紡ぐ 小瀬川神楽保存会

【問い合わせ】 会長 及川 敏 さん(☎27-3514)

■小瀬川神楽創立100周年記念事業
【日時】7月16日(日)、午後1時
【会場】小瀬川公民館
【内容】円万寺系神楽3団体(小瀬川神楽、円万寺神楽、上根子神楽)による競演

地域おこし協力隊

- 広報担当 岡田 芳美(旧姓 熊谷) -

早いもので、着任して10カ月がたちました。季節も巡り、春、そして新緑の季節です。ことしは何十年ぶりにバッケ(フキノトウ)を採ろうと思っていたらいつの間にか巨大になってしまっていたり…田んぼにも水が張られてきたなあと思つたらもう田植えがされていたり…。一気に世界が色を取り戻し、スピード感を増した印象で、Uターンとはいっても移住初年度の私には目まぐるしいくらいの「春」でした。
また、私事です結婚して熊谷から岡田になり、東京からUターンし花巻で働き始めた夫と共に、新生活をスタートしています。

*協力隊印 いわて盛(もり)

協力隊の活動では、「協力隊印 いわて盛り」を発売しました。これは北上市の高橋協力隊員と一緒に「土産おこし協力隊」として企画した、ちよつとずついろいろなものが楽しめるお土産セットです。まずは、花巻・北上セットの2種類で、私は花巻セットを担当。超個人的な思い入れでセレクトした花巻のお菓子を4点、詰め合わせました。ぜひお試しいただき、周りの方にお薦めしたくなるような「お気に入り」を見つけていただけたらうれしいです。

いわて盛りについて詳しくは、下記フェイスブックページをご覧ください。

*協力隊印 いわて盛りフェイスブックページ
<https://www.facebook.com/iwatemori/>



▲いわて盛りを手にする岡田隊員(左)と高橋隊員

円万寺神楽の流れをくむ小瀬川神楽。大正7年に初舞を披露してから、ことしで100年の節目を迎えます。地域に伝承されている舞を守るのは小瀬川神楽保存会の皆さん。式六番と呼ばれる▼鶏舞▼翁舞▼三番叟▼八幡舞▼山神舞▼岩戸開きーのほか、神話や歴史、説話を主題とした狂言を週2回集まり練習しています。
現在は7月に開催する100周年記念イベントに向け「わらび折り」という演目を稽古中。26年前に披露したきりというこの舞を、記念の節目に復活させようと取り組んでいます。



笛やかね、太鼓に合わせて舞を練習する同神楽保存会の皆さん

「地域に脈々と受け継がれた伝統の舞を守りたい。先輩が紡いできた歴史を、未来に残すことができれば」と話す同神楽保存会の皆さん。たおやかで優雅と評される円万寺神楽流の舞振りをお忠実に伝えます。